

令和 6 年度

事業概要



広島障害者職業能力開発校

〒734-0003 広島市南区宇品東四丁目1-23

TEL (082) 254-1766 FAX (082) 254-1716

目 次

1 設 立 の 目 的	-----	1
2 沿 革	-----	1
3 位 置	-----	1
4 組 織	-----	2
5 施 設 の 状 況	-----	4
6 事 業 の 内 容		
[1] 施 設 内 訓 練	-----	8
(1) 職 業 能 力 開 発	-----	8
(2) 訓 練 科 目 ・ 定 員 内 容	-----	8
(3) 令 和 6 年 度 応 募 状 況	-----	9
(4) 令 和 5 年 度 修 了 状 況	-----	9
(5) 年 間 行 事 計 画	-----	9
(6) 生 活 指 導	-----	10
(7) 訓 練 生 の 1 日	-----	10
[2] 障 害 者 委 託 訓 練	-----	11

資 料

1 沿 革 （ 訓 練 科 等 詳 細 ）	-----	14
2 令 和 6 年 度 訓 練 生 の 状 況	-----	21
3 令 和 5 年 度 修 了 生 の 状 況	-----	24
4 令 和 5 年 度 障 害 者 委 託 訓 練 の 状 況	-----	25
5 過 去 5 年 間 の 状 況	-----	28

1 設 立 の 目 的

本校は、職業能力開発促進法に基づいて国が設立し、広島県が委託を受けて運営する職業能力開発校で、身体などに障害があるため高等技術専門校等で職業訓練を受けることが困難な方に対して、能力や適性に応じ就職に必要な知識や技術を習得する職業訓練を行い、就職の促進及び雇用継続を図ることを目的としています。

2 沿 革

昭和28年 2月1日～職業安定法に基づき、国立県営広島身体障害者職業補導所として発足

昭和33年 7月1日～職業訓練法の施行により、広島身体障害者職業訓練所と改称

昭和38年 5月1日～現在地に移転、訓練開始

昭和44年10月1日～職業訓練法の改正により、広島身体障害者職業訓練校に改称

昭和63年 4月1日～職業能力開発促進法の改正により、広島障害者職業訓練校に改称

平成 5年 4月1日～職業能力開発促進法の改正により、広島障害者職業能力開発校に改称

平成11年 3月～老朽化による建替工事に着工

平成14年 3月～建替工事竣工

平成20年 4月1日～施設内訓練の一部を2年制課程に再編

平成29年 4月1日～施設内訓練に6か月課程を新設

3 位 置

(1) 所在地

〒734-0003

広島県広島市南区宇品東四丁目 1-23

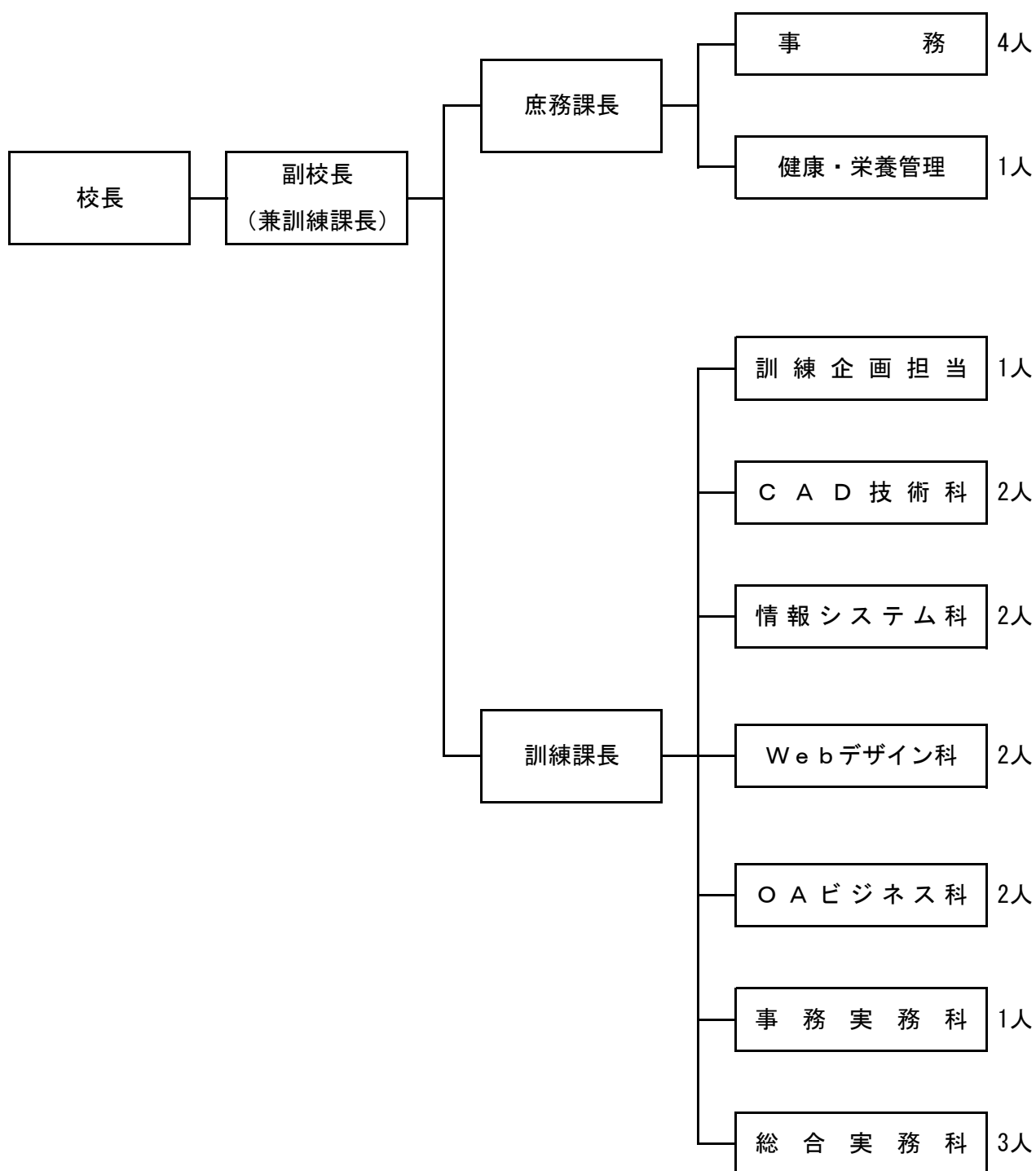
TEL (082) 254-1766 FAX (082) 254-1716

(2) 交通機関及び距離

本紙裏面参照

4 組 織

(1) 組 織 図



(2) 職員の構成

1 配置別職員構成（令和6年4月1日現在）

単位：人

区 分		庶務課	訓練課	会計年度任用職員		計
				月額	時間	
校	長	1				1
副	校 長	1				1
課	長	1	兼務(1)			1
事	務 職	4				4
看	護 師	1				1
指導員	訓 練 企 画 担 当		1			1
	C A D 技 術 科		2	2	3	7
	情 報 シ ス テ ム 科		2	2	2	6
	W e b デ ザ イ ン 科		2	2	3	7
	O A ビ ジ ネ ス 科		2	3	5	10
	事 務 実 務 科		1	1	1	3
	総 合 実 務 科		3	8		11
精 神 保 健 福 祉 士				2		2
就 労 支 援 業 務 従 事 員				1		1
手 話 通 訳 業 務 従 事 員				2		2
委 託 訓 練 支 援 員				4		4
職 業 能 力 開 発 事 務 従 事 員				1		1
訓 練 介 護 業 務 従 事 員				1		1
当 直 専 門 員				8		8
計		8	13	37	14	72

注1：訓練課の職員には、OAビジネス科、事務実務科、総合実務科に各1人のエルダー職員を含む。

注2：OAビジネス科の時間講師うち1名は、事務実務科を兼務する。

2 職名別職員構成

単位：人

区	校	副	課	参	主	訓	主	主	主	計	職	職	精	就	手	委	職	訓	当	計	合
分	長	校	長	事	幹	練	査	任	事	計	業	業	神	就	話	託	業	練	直	計	計
現	1	1	1	2	1	5	3	6	1	21	18	14	2	1	2	4	1	1	8	51	72

5 施設の状況

(1) 土 地 9,891㎡

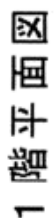
(2) 建 物 9,189㎡

区 分	構 造	延床面積	完成年月
管理・訓練棟	鉄筋コンクリート 地上3F地下1F	5,734	H13.5
厚生棟（寄宿舍・食堂）	鉄筋コンクリート 地上3F	2,549	H12.3
体 育 館	鉄筋コンクリート 地上1F	494	H14.3
渡 廊 下	鉄筋コンクリート 地上1F	78	H14.3
車 庫	鉄骨造 地上1F	79	H14.3
駐車場上屋	鉄骨造 地上1F	255	H14.3
計		9,189	

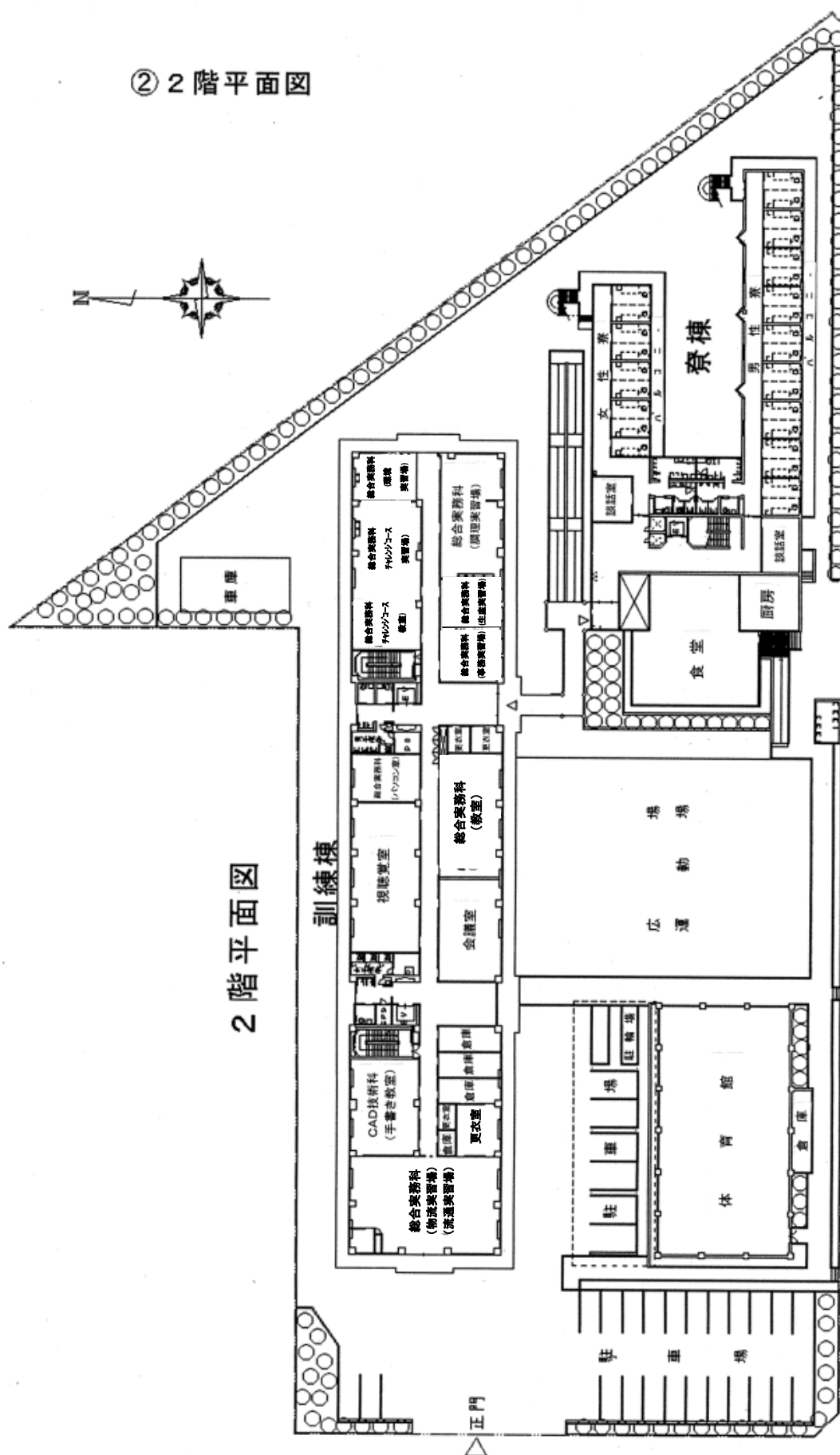
(3) 主な訓練機器

科名	品 目
C A D 技 術 科	旋盤、卓上ボール盤、立フライス盤、フライス盤、研削盤、金切盤、放電加工機、研磨機、巻上機、クレーン、長さ測定機、角度測定器、面測定器、水準測量機、溶接機・溶断機、プロジェクター、パーソナルコンピュータ、図案製図用具、製図器、製図及び図案機械、サーバー、プロッタ、三次元プリンタ、三次元測定機
情 報 シ ス テ ム 科	パーソナルコンピュータ、サーバー、プリンタ、プロジェクター
W e b デ ザ イ ン 科	パーソナルコンピュータ、サーバー、プリンタ、プロジェクター
O A ビ ジ ネ ス 科	パーソナルコンピュータ、サーバー、ネットワーク通信機器、プロジェクター、拡大読書機、レコーダー、スクリーンリーダー、点字プリンタ、点字ディスプレイ、ブ렉ストーク、iphone
事 務 実 務 科	プロジェクター、パーソナルコンピュータ、サーバー、プリンタ
総 合 実 務 科	掃除機、はかり、コンベア、ラッパー、シーラー、ラベルプリンター、食料品等加工機器、プロジェクター

① 1階平面図



② 2 階平面図



[illegible]

6 事業の内容

[1] 施設内訓練

(1) 職業能力開発

当校は、職業能力開発促進法に基づき、法に定める訓練基準と訓練生個々の能力等を勘案して教科標準を作成し、訓練目標としています。

(2) 訓練科目、定員、訓練期間、訓練内容

訓練科目名	定員 (人)	訓練期間	訓練内容
C A D 技術科	15 (30)	2年	機械工学、材料力学、機械設計・製図のためのC A D、設計形状を加工するためのプログラミング（C A M）及び機械工作法、測定法、NC工作機械の操作等の学科と実技
情報システム科	10 (20)	2年	ソフトウェア、ハードウェア、プログラミング、ネットワーク、ワープロ、表計算及びデータベースソフトの操作等の学科と実技
W e b デザイン科	10 (20)	2年	情報技術全般の基礎知識、ビジネスソフトの活用、W e b サイトの構築や素材作成、デザインの概要、W e b 環境を利用したシステム開発の基礎技術等の学科と実技
O A ビジネス科 (身体障害者等対象)	17	1年	ビジネスで利用するアプリケーションソフトの活用、EXCEL VBAを使用した処理の自動化、簿記会計、事務一般、税法、社会保険事務、ビジネスマナー等の実技と学科
O A ビジネス科 音声ハソココース (視覚障害者対象)	3	1年	スクリーンリーダーを活用してパソコンの操作を学び、表計算やインターネットメール等の利用技術を習得
事務実務科 (精神障害者等対象)	10	1年	パソコン操作、就職基礎訓練、事務一般、ビジネスマナー、社会保険事務、ビジネス実務等に関する学科と実技
総合実務科 (知的障害者対象)	30	1年	「流通」、「物流」、「屋外・屋内環境整備」、「就業基礎・軽事務」、「事務補助」及び「調理」の6つの技能の習得、パソコン実習、体力づくりなどを含め、マナー、体力、作業習慣などを身につけ、職業人として自立するための総合的な訓練
総合実務科 チャレンジコース (発達障害者対象)	5 (10)	6か月	「流通」、「物流」、「環境整備」等の技能の習得、パソコン実習、体力づくりなどを含め、社会性、協調性、作業習慣などを身につけ、作業能力に応じた職場適応能力を開発するための総合的な訓練

注) () 内は科の総定員数

(3) 令和6年度生応募・入校状況
資料P21参照

(4) 令和5年度生修了・就職状況
資料P24参照

(5) 年間行事計画

区 分		行 事	備 考
4 月	上 旬	入校・初期指導	
	中 旬	交通安全講和、消防避難訓練（1回目） 訓練生健康診断（1年課程科）	内科検診・レントゲン等
5 月	上 旬	訓練生健康診断（2年課程科）	内科検診・レントゲン等
	中 旬	人権学習、校外実習	
6 月	上 旬	就職セミナー～9月	面接訓練等
7 月	上 旬	キャリア形成～3月	社会人基礎力向上等
	中 旬	令和6年度後期訓練生募集開始 職業講話	
8 月	上 旬 下 旬	オープンスクール、夏休み	2週間程度
9 月	上 旬	令和7年度訓練生募集開始	
	下 旬	前期修了	
10月	上 旬	後期入校	
	下 旬	消防避難訓練（2回目）	
11月	上 旬	技能フェア	
	下 旬	令和7年度訓練生入校選考	
12月	上 旬	職業相談	
	下 旬	冬休み	2週間程度
1 月	中 旬	広島県障害者技能競技大会	
	下 旬	総合実務科体験実習	
2 月	上 旬	技能照査	学科、実技
	下 旬	令和7年度訓練生入校選考（定員充足していない科を追加募集）	
3 月	中 旬	修了	

注1) 訓練時間は、8時35分～15時35分（7時限）

○Aビジネス科（音声パソコンコース）及び事務実務科は、9時25分～14時40分（5時限）

総合実務科（チャレンジコース）は、8時35分～13時50分（5時限）

注2) 休校日は土曜・日曜・祝日、夏休み・冬休み各2週間程度、春休み（2年制課程のみ）

注3) 年間行事計画は、災害や感染症等の影響により変更する場合があります。

(6) 生活指導

校訓である「責任と和、自立と根気、自信と誇り」を基本理念とし、規律正しい集団生活、協調精神の養成、更に職業人としての自立精神の育成、社会人としての良識ある人格形成を目標としています。

ア 健康管理

訓練生の中には、生活環境の変化などにより体調を崩したり、症状が再発することもあるので、専任看護師を配置して健康相談の実施や予防衛生に努めるとともに、専門医による健康診断などを計画的に実施しています。

また、希望者には毎月、精神科医による訓練生のカウンセリングを実施しています。（１回２時間程度）

更に、精神保健福祉士によるメンタル相談を受けることができます。

イ 寮における生活

寮生活においては、共同生活のルール及び協調性、社会性について指導し、楽しい生活の場となるように配慮しています。

また、当直専門員2人を常駐させ、生活指導や相談等に応じています。

施設は、冷暖房設備を完備し、1室の定員は1人で寮生が使用しやすいよう配慮した構造になっています。

(7) 訓練生の1日

7:00 起床 7:05 点呼	7:30 ～8:10 朝食	8:35 訓練 開始	10:15 ～10:20 (休憩)	12:00 ～12:45 (昼食)	14:40 15:35 ～14:45 訓練 (休憩) 終了	17:30 ～18:30 (夕食)	18:00 ～21:30 (入浴)	21:40 点呼	22:00 消灯	
清掃	訓練		訓練	昼休憩 (60分)	訓練		訓練	自由	自由	自習
	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限			
	OAE [®] ビジネス科(音声 ^ハ ソコンコース)通校生(1日5時限) 事務実務科通校生(1日5時限)									
	総合実務科(チャレンジコース)通校生(1日5時限)									
	上記の科を除く通校生(1日7時限)									
寮 生										

[2] 障害者委託訓練

障害者の雇用促進に資するため、企業・民間教育訓練機関・NP0法人・社会福祉法人等を活用し、有効求職障害者の職業訓練機会の拡大を図るとともに、障害者の能力、適性及び地域の障害者雇用ニーズに対応した訓練を、企業等に委託して実施します。

(1) 令和6年度実施計画

ア 知識・技能習得訓練コース（定員47人）

障害のある方々に対する支援実績のある企業や専門学校等に委託して、就職促進に役立つ知識と技能の習得を目的とした訓練を実施します。

訓練職種	定員	実施 予定 地域	訓練 期間	開始 予定 時期	委託先
P C 初級スキル習得科 1	8	福山市	3 か月	6月	学校法人福山医療学園
P C 初級スキル習得科 2	8	広島市		6月	ひろぎんヒューマンリソース株式会社
介 護 初 任 者 研 修 科	6	福山市		8月	陽気株式会社
P C 初級スキル習得科 4	9	呉市		10月	株式会社 ダイキエンジニアリング
P C 初級スキル習得科 3	8	広島市		11月	株式会社 広島情報シンフォニー
P C 初級スキル習得科 5	8	広島市		12月	ひろぎんヒューマンリソース株式会社

イ eラーニングコース（定員2人）

重度障害者等（訓練実施事業所へ通うことが困難な方々）を対象とした訓練を、eラーニング（自宅での通信訓練）で実施します。

訓練職種	定員	実施 予定 地域	訓練 期間	実施 予定 時期	委託先
在宅Web制作科	1	広島県 内及び 近県	3か月	9月	株式会社 沖ワークウェル
在宅事務処理科	1			12月	

ウ 実践能力習得訓練コース（定員17人）

公共職業安定所に障害者求人を出している企業や社会福祉法人等の現場で、実践的な訓練を実施します。

エ 特別支援学校等早期委託訓練コース（定員1人）

特別支援学校高等部等の生徒で、卒業後の就職先が内定していない就職希望者を対象に、障害者委託訓練を活用して職業能力開発を促進し、教育・福祉から一般就労への切れ目のない就職支援を行います。

オ 在職者訓練コース（障害者在職訓練）（定員25人）

障害のある在職障害者に対して、雇用継続に資する知識・技能を付与するための訓練を、民間教育訓練機関等に委託して実施します。

(2) 令和5年度の実施状況

資料P. 25参照

資 料 (目 次)

項目	頁
1 沿革（訓練科等詳細）	14
2 令和6年度訓練生の状況	21
表 2-1 応募・入校状況	
表 2-2 年齢別入校状況	
表 2-3 出身県別入校状況	
表 2-4 学歴別入校状況	
表 2-5 障害部位別入校状況	
表 2-6 障害理由及び障害程度別入校状況	
3 令和5年度修了生の状況	24
表 3-1 修了・就職状況	
表 3-2 就職地別就職状況	
4 令和5年度障害者委託訓練の状況	25
表 4-1 入校・修了・就職状況（知識・技能習得訓練コース）	
表 4-2 入校・修了・就職状況（e-ラーニングコース）	
表 4-3 入校・修了・就職状況（実践能力習得訓練コース）	
表 4-4 入校・修了・就職状況（特別支援学校早期訓練コース）	
表 4-5 入校・修了状況（在職者訓練コース）	
表 4-6 障害部位別入校状況（コース別）	
表 4-7 障害部位別入校状況（年度別）	
5 過去5年間の状況	28
表 5-1 応募状況の推移	
表 5-2 入校状況の推移	
表 5-3 年齢別入校状況の推移	
表 5-4 出身県別入校状況の推移	
表 5-5 学歴別入校状況の推移	
表 5-6 障害部位別入校状況の推移	
表 5-7 障害等級別入校状況の推移	
表 5-8 障害理由別入校状況の推移	
表 5-9 訓練科目別修了状況の推移	
表 5-10 修了者就職状況の推移	
表 5-11 退校者就職状況の推移	
表 5-12 入校者就職状況の推移	
表 5-13 就職地別就職状況の推移	

1 沿革（訓練科等詳細）

年月日	特 記 事 項	科 名	定員	総定員
昭和 28. 2. 1	職業安定法に基づき、国立県営広島身体障害者職業補導所として発足 ・場 所：広島市南区宇品御幸三丁目11-52 ・入所時期：4月、10月 ・職 種：5科	経 理 事 務 科 理 容 科 男 子 服 科 義 肢 科 ミ シ ン 組 立 修 理 科	20 25 30 10 15	5 科 100人
28. 5. 1	補 導 開 始			
32. 5. 1	・洋裁科新設 ・男子服科を洋服科と改称、定員変更 ・義肢科定員変更 ・ミシン組立修理科定員変更	経 理 事 務 科 理 容 科 洋 裁 科 洋 服 科 義 肢 科 ミ シ ン 組 立 修 理 科	20 25 15 25 5 10	6 科 100人
33. 7. 1	職業訓練法の施行により、広島身体障害者職業訓練所と改称			
37. 4. 1	・義肢科を義肢装具科に改称	経 理 事 務 科 理 容 科 洋 裁 科 洋 服 科 義 肢 装 具 科 ミ シ ン 組 立 修 理 科	20 25 15 25 5 10	6 科 100人
38. 4. 1	・経理事務科を事務員科に改称	事 務 員 科 理 容 科 洋 裁 科 洋 服 科 義 肢 装 具 科 ミ シ ン 組 立 修 理 科	20 25 15 25 5 10	6 科 100人
38. 5. 1	現在地に移転、訓練開始			
41. 4. 1	・時計修理科を新設 ・機械製図科を新設	事 務 員 科 理 容 科 洋 裁 科 洋 服 科 義 肢 装 具 科 ミ シ ン 組 立 修 理 科 時 計 修 理 科 機 械 製 図 科	20 25 15 25 5 10 10 10	8 科 120人
42. 4. 1	・美容員科を新設	事 務 員 科 理 容 科 美 容 員 科 洋 裁 科 洋 服 科 義 肢 装 具 科 ミ シ ン 組 立 修 理 科 時 計 修 理 科 機 械 製 図 科	20 25 20 15 25 5 10 10 10	9 科 140人

43. 4. 1	・洋服科定員変更 ・義肢装具科定員変更	事務員科 理容科 美容員科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 ミシン組立修理科 時計修理科 機械製図科	20 25 20 15 20 10 10 10 10	9科 140人
44. 10. 1	職業訓練法の改正により、広島身体障害者職業訓練校に改称			
45. 4. 1	・事務員科を事務科に改称 ・美容員科を美容科に改称、定員変更 ・ミシン組立修理科を縫製機械整備科に改称 ・機械製図科定員変更	事務科 理容科 美容科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 縫製機械整備科 時計修理科 機械製図科	20 25 15 15 20 10 10 10 15	9科 140人
46. 4. 1	・電子機器科を新設	事務科 理容科 美容科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 縫製機械整備科 時計修理科 機械製図科 電子機器科	20 25 15 15 20 10 10 10 15 20	10科 160人
47. 3. 31	・時計修理科を廃止			
47. 4. 1	・洋裁科定員変更 ・洋服科定員変更	事務科 理容科 美容科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 縫製機械整備科 機械製図科 電子機器科	20 25 15 20 25 10 10 15 20	9科 160人
50. 4. 1	・表具科を新設 ・理容科を廃止 ・美容科を廃止 ・事務科定員変更 ・洋裁科定員変更 ・義肢装具科定員変更 ・機械製図科定員変更	事務科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 縫製機械整備科 機械製図科 電子機器科 表具科	25 25 25 15 10 20 20 20	8科 160人

50. 7. 25	・事務科を一般事務科に改称			
54. 4. 1	・軽印刷科を新設(入校時期4月) ・洋裁科定員変更 ・洋服科定員変更 ・縫製機械整備科、洋裁科、表具科の入校時期(4月、10月)を4月とする	一般事務科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 縫製機械整備科 機械製図科 電子機器科 表具科 軽印刷科	25 10 20 15 10 20 20 20 20	9科 160人
55. 4. 1	・洋服科定員変更 ・義肢装具科の訓練期間を2年とし、定員変更 ・電子機械科、洋服科、機械製図科、義肢装具科、一般事務科の入校時期(4月、10月)を4月とする	一般事務科 洋裁科 洋服科 義肢装具科 縫製機械整備科 機械製図科 電子機器科 表具科 軽印刷科	25 10 15 10 10 20 20 20 20	(1年生) 9科 150人
56. 4. 1	・縫製機械整備科を廃止 ・洋裁科、洋服科を服飾科に改称し、定員変更 ・服飾科にコース制を導入(婦人子供服・紳士服・縫製(新設)) ・一般事務科定員変更	一般事務科 服飾科 (婦人子供服コース) (紳士服コース) (縫製コース) 義肢装具科 機械製図科 電子機器科 表具科 軽印刷科	30 30 (10) (10) (10) 20 20 20 20 20	7科 160人
57. 4. 1	・機械組立科を新設 ・電子機器科にコース制を導入(家庭用電子機器・工業用電子機器) ・一般事務科を事務科に改称 ・事務科にコース制を導入(一般事務・経理事務) ・機械製図科定員変更 ・表具科定員変更	事務科 (一般事務コース) (経理事務コース) 服飾科 (婦人子供服コース) (紳士服コース) (縫製コース) 義肢装具科 機械製図科 電子機器科 (家庭用電子機器コース) (工業用電子機器コース) 表具科 軽印刷科 機械組立科	30 (15) (15) 30 (10) (10) (10) 20 15 20 (10) (10) 15 20 10	8科 160人

62. 4. 1	・服飾科のコースの改称・廃止（婦人子供服を洋裁に改称、紳士服を廃止） ・軽印刷科を印刷科に改称 ・事務科（一般事務・経理事務）をOA事務科（ワープロ・パソコン）に改称	O A 事 務 科 30 （ワープロコース） (15) （パソコンコース） (15) 服 飾 科 20 （洋 裁 コース） (10) （縫 製 コース） (10) 義 肢 装 具 科 20 機 械 製 図 科 15 電 子 機 器 科 20 （家庭用電子機器コース） (10) （工業用電子機器コース） (10) 表 具 科 15 印 刷 科 20 機 械 組 立 科 10	8 科 150人
63. 4. 1	職業能力開発促進法の改正により、広島障害者職業訓練校に改称		
平成 元. 4. 1	・生産実務科を新設 ・印刷科定員変更	O A 事 務 科 30 （ワープロコース） (15) （パソコンコース） (15) 服 飾 科 20 （洋 裁 コース） (10) （縫 製 コース） (10) 義 肢 装 具 科 20 機 械 製 図 科 15 電 子 機 器 科 20 （家庭用電子機器コース） (10) （工業用電子機器コース） (10) 表 具 科 15 印 刷 科 10 機 械 組 立 科 10 生 産 実 務 科 10	9 科 150人
4. 4. 1	・義肢装具科を廃止 ・生産実務科定員変更	O A 事 務 科 30 （ワープロコース） (15) （パソコンコース） (15) 服 飾 科 20 （洋 裁 コース） (10) （縫 製 コース） (10) 機 械 製 図 科 15 電 子 機 器 科 20 （家庭用電子機器コース） (10) （工業用電子機器コース） (10) 表 具 科 15 印 刷 科 10 機 械 組 立 科 10 生 産 実 務 科 20	8 科 140人

5. 4. 1	職業能力開発促進法の改正により、 広島障害者職業能力開発校に改称			
	・電子機器科のコース制廃止 ・機械組立科を機械加工科に改称 ・服飾科のコース制廃止 ・印刷科をデザイン製版科に改称 ・機械製図科をコンピュータ製図科に改称 ・表具科をインテリア表具科に改称 ・OA事務科のコース制廃止	O A 事 務 科 服 飾 科 コンピュータ製図科 電 子 機 器 科 インテリア表具科 デ ザ イ ン 製 版 科 機 械 加 工 科 生 産 実 務 科	30 20 15 20 15 10 10 20	8 科 140人
8. 4. 1	・機械加工科とコンピュータ製図科を統合して機械技術科とし、コース制を導入（機械加工コース・コンピュータ製図コース） ・服飾科を服飾デザイン科に改称 ・生産実務科を総合実務科に改称	O A 事 務 科 服 飾 デ ザ イ ン 科 機 械 技 術 科 （機 械 加 工 コース） （コンピュータ製図コース） 電 子 機 器 科 インテリア表具科 デ ザ イ ン 製 版 科 総 合 実 務 科	30 20 25 (10) (15) 20 15 10 20	7 科 140人
9. 4. 1	・電子機器科をソフトウェア科に改称	O A 事 務 科 服 飾 デ ザ イ ン 科 機 械 技 術 科 （機 械 加 工 コース） （コンピュータ製図コース） ソ フ ト ウ ェ ア 科 インテリア表具科 デ ザ イ ン 製 版 科 総 合 実 務 科	30 20 25 (10) (15) 20 15 10 20	7 科 140人
10. 4. 1	・服飾デザイン科定員変更 ・デザイン製版科定員変更	O A 事 務 科 服 飾 デ ザ イ ン 科 機 械 技 術 科 （機 械 加 工 コース） （コンピュータ製図コース） ソ フ ト ウ ェ ア 科 デ ザ イ ン 製 版 科 インテリア表具科 総 合 実 務 科	30 10 25 (10) (15) 20 20 15 20	7 科 140人
11. 3	・老朽化による建替工事を着工			
12. 4. 1	・服飾デザイン科を廃止	O A 事 務 科 機 械 技 術 科 （機 械 加 工 コース） （コンピュータ製図コース） ソ フ ト ウ ェ ア 科 デ ザ イ ン 製 版 科 インテリア表具科 総 合 実 務 科	30 25 (10) (15) 20 20 15 20	6 科 130人
14. 3	・建替工事竣工			

14. 4. 1	・機械技術科のコンピュータ製図コースをC A Dコースに改称し、定員変更 ・インテリア表具科定員変更 ・O A事務科をビジネス科に改称、コース制を導入(流通事務コース・O A事コース)し、定員変更 ・総合実務科定員変更	機 械 技 術 科 (機 械 加 工 コー ス) (C A D コー ス) デ ザ イン 製 版 科 イ ン テ リ ア 表 具 科 ビ ジ ネ ス 科 (流 通 事 務 コー ス) (O A 事 務 コー ス) ソ フ ト ウ ェ ア 科 総 合 実 務 科	20 (10) (10) 20 10 40 (20) (20) 20 30	6 科 140 人
20. 4. 1	・機械技術科機械加工コースを廃止 ・インテリア表具科を廃止 ・機械技術科C A DコースをC A D技術科定員15名2年制課程に変更 ・ソフトウェア科を情報システム科定員10名2年制課程に変更 ・デザイン製版科をW e bデザイン科定員10名2年制課程に変更 ・ビジネス科流通事務コースをオフィスビジネス科に改称 ・ビジネス科O A事務コースをO A事務科に改称	C A D 技 術 科 情 報 シ ス テ ム 科 W e b デ ザ イン 科 O A 事 務 科 オ フ ィ ス ビ ジ ネ ス 科 総 合 実 務 科	15 (30) 10 (20) 10 (20) 20 20 30	6 科 140 人
24. 4. 1	・オフィスビジネス科を事務実務科に転科	C A D 技 術 科 情 報 シ ス テ ム 科 W e b デ ザ イン 科 O A 事 務 科 事 務 実 務 科 総 合 実 務 科	15 (30) 10 (20) 10 (20) 20 20 30	6 科 140 人
25. 4. 1	・事務実務科で重度視覚障害者を受入れ	C A D 技 術 科 情 報 シ ス テ ム 科 W e b デ ザ イン 科 O A 事 務 科 事 務 実 務 科 (精 神 障 害 者 等) (重 度 視 覚 障 害 者 コー ス) 総 合 実 務 科	15 (30) 10 (20) 10 (20) 20 20 (17) (3) 30	6 科 140 人
29. 4. 1	・事務実務科で受け入れていた重度視覚障害者をO A事務科で受入れ ・総合実務科に発達障害者を対象としたチャレンジコース(6か月課程)を新設し、定員変更 ・事務実務科定員変更	C A D 技 術 科 情 報 シ ス テ ム 科 W e b デ ザ イン 科 O A 事 務 科 (身 体 障 害 者 等) (重 度 視 覚 障 害 者 コー ス) 事 務 実 務 科 総 合 実 務 科 (知 的 障 害 者) (チ ャ レ ン ジ コー ス)	15 (30) 10 (20) 10 (20) 20 (17) (3) 10 40 (30) (5×2)	6 科 140 人

31. 4. 1	・ O A 事務科の重度視覚障害者コースの受け入れ対象を視覚障害者に拡大し、音声パソコンコースに改称	C A D 技 術 科 情 報 シ ス テ ム 科 W e b デ ザ イ ン 科 O A 事 務 科 (身 体 障 害 者 等) (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス) 事 務 実 務 科 総 合 実 務 科 (知 的 障 害 者) (チ ャ レ ン ジ コ ー ス)	15 (30) 10 (20) 10 (20) 20 (17) (3) 10 40 (30) (5×2)	6 科 140 人
令和 5. 4. 1	・ O A 事務科を O A ビジネス科に改称	C A D 技 術 科 情 報 シ ス テ ム 科 W e b デ ザ イ ン 科 O A ビ ジ ネ ス 科 (身 体 障 害 者 等) (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス) 事 務 実 務 科 総 合 実 務 科 (知 的 障 害 者) (チ ャ レ ン ジ コ ー ス)	15 (30) 10 (20) 10 (20) 20 (17) (3) 10 40 (30) (5×2)	6 科 140 人

2 令和6年度訓練生の状況

表2-1 応募・入校状況

(単位：人、%)

区 分 科 名	定 員	応 募 者	合 格 者	辞 退 者	入 校 者			充 足 率	通 校 者	
					計	男	女		通校	入寮
C A D 技 術 科	15	11	7		7	6	1	46.7	7 (1)	0 (0)
情 報 シ ス テ ム 科	10	16	11	2	9	8	1	90.0	8 (1)	1 (0)
W e b デザイン科	10	16	10		10	10		100.0	10 (0)	0 (0)
○ A ビジネス科	17	11	8		8	4	4	47.1	7 (3)	1 (1)
○ A ビジネス科 (音声パソコンコース)	3	4	3		3	2	1	100.0	2 (1)	1 (0)
事 務 実 務 科	10	15	9		9	2	7	90.0	9 (7)	0 (0)
総 合 実 務 科	30	8	8	3	5	5		16.7	5 (0)	0 (0)
総合実務科(前期) (チャレンジコース)	5	5	5	1	4	4		80.0	3 (0)	1 (0)
計	100	86	61	6	55	41	14	55.0	51 (13)	4 (1)

注1) 第2志望での合格者については、第1志望科を応募科としています。

注2) () 内の数字は、女性人数で内数です。

表2-2 年齢別入校状況

(単位：人、歳)

年 齢 区 分 科 名	入 校 者	20歳 未 満	20歳 ～24 歳	25歳 ～29 歳	30歳 ～34 歳	35歳 ～39 歳	40歳 ～44 歳	45歳 ～49 歳	50歳 ～54 歳	55歳 ～59 歳	60歳 ～64 歳	65歳 以上
C A D 技 術 科	7	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0
情 報 シ ス テ ム 科	9	3	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0
W e b デザイン科	10	2	0	0	2	0	3	2	1	0	0	0
○ A ビジネス科	8	1	0	2	0	1	2	0	1	0	1	0
○ A ビジネス科 (音声パソコンコース)	3	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
事 務 実 務 科	9	0	2	0	3	0	0	1	1	1	1	0
総 合 実 務 科	5	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
総合実務科(前期) (チャレンジコース)	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	55	12	7	6	8	3	7	5	3	2	2	0

表２－３ 出身県別入校状況

(単位：人)

科 名 \ 県 名	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	その他	計
C A D 技 術 科				7							7
情 報 シ ス テ ム 科				8	1						9
W e b デザイン科				10							10
O A ビジネス科				8							8
O A ビジネス科 (音声パソコンコース)				3							3
事 務 実 務 科				8	1						9
総 合 実 務 科				5							5
総合実務科(前期) (チャレンジコース)				4							4
計	0	0	0	53	2	0	0	0	0	0	55

表２－４ 学歴別入校状況

科 名 \ 学歴区分	中学卒		高卒		短大 大学卒		計	
	新卒		新卒		新卒		新卒	
C A D 技 術 科	1		4	1	2		7	1
情 報 シ ス テ ム 科			5	3	4	1	9	4
W e b デザイン科			6	2	4		10	2
O A ビジネス科			4	1	4		8	1
O A ビジネス科 (音声パソコンコース)			1		2		3	0
事 務 実 務 科			6		3		9	0
総 合 実 務 科	1		4	3			5	3
総合実務科(前期) (チャレンジコース)			4	2			4	2
計	2	0	34	12	19	1	55	13

表２－５ 障害部位別入校状況

障害部位※ 科 名	入校者	身体障害者									知的障害者	精神障害者							難病	
		視覚	聴覚・平衡	音声・言語	上肢切断	上肢機能	下肢切断	下肢機能	体幹機能	内臓機能		統合失調症	双極性障害・うつ病	発達障害	その他の精神疾患	てんかん	高次脳機能障害			
C A D 技術科	7	1				1		1				7	3	2	1		1			
情報システム科	9	2		1		1		1				8	2	1	4	1				
Webデザイン科	10	2		1			1	1				8	2	2	2	1	1			
O A ビジネス科	8	8		4		1	2		2		2									
O A ビジネス科 (音声パソコンコース)	3	3	3																	
事務実務科	9											9	4	1	1	2	1			
総合実務科	5											5	1		1					
総合実務科（前期） （チャレンジコース）	4											4			4					
計	55	16	3	6	0	1	4	1	5	0	2	5	37	11	6	13	4	2	1	0

※障害部位は重複者を含んでいます。

表２－６ 障害理由及び障害程度別入校状況

科 名	障害等級 及び理由	入 校 者	障害理由※					障害程度												その 他 の 障 害 ※※	
			先 天 性	疾 病	産 業 災 害	交 通 災 害	そ の 他	身体障害等級						知的障害			精神障害				
								1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	重 度	中 度	軽 度	1 級	2 級	3 級		不 明
C A D 技 術 科	7	1			1	5		1										7			
情 報 シ ス テ ム 科	9	2	2			6				1		1						2	6		
W e b デ ザ イ ン 科	10	3			1	6		2										1	7		
○ A ビ ジ ネ ス 科	8	4	3		1		1	5		2											
○ A ビ ジ ネ ス 科 (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス)	3	2				1	1	2													
事 務 実 務 科	9	1	8															1	5	2	1
総 合 実 務 科	5	5				1										5			1		
総合実務科（前期） （チャレンジコース）	4					4												1	3		
計	55	18	13	0	3	23	2	10	0	3	0	1	0	0	5	1	16	19	1	0	

※障害理由は重複者を含んでいます。

※※その他の障害は指定難病、慢性疾患、悪性疾患等の併発を含んでいます。

3 令和5年度修了生の状況

表3-1 修了・就職状況

(単位：人、%)

区 分 科 名	定 員	入 校 者 ①	中途退校者			修了者 ⑤	就修職者了 ⑥	修了率 ⑦ ⑤÷①	就修職率 ⑧ ⑥÷⑤	就職率 ⑨ $\frac{③+⑥}{③+⑤}$
			計 ②	就職 ③	その他 ④					
C A D 技 術 科	15	5 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (0)	4 (0)	80.0	100.0	100.0
情 報 シ ス テ ム 科	10	10 (3)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	8 (2)	8 (2)	80.0	100.0	100.0
W e b デ ザ イ ン 科	10	10 (3)	6 (3)	2 (1)	4 (2)	4 (0)	4 (0)	40.0	100.0	100.0
○ A 事 務 科	17	3 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	66.7	100.0	100.0
○ A 事 務 科 (音声パソコンコース)	3	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	100.0	50.0	50.0
事 務 実 務 科	10	6 (3)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	4 (2)	0 (0)	66.7	0.0	0.0
総 合 実 務 科	30	7 (3)	4 (1)	2 (1)	2 (0)	3 (2)	2 (1)	42.9	66.7	80.0
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	10	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	100.0	100.0	100.0
計	105	46 (15)	16 (7)	5 (2)	11 (5)	30 (8)	24 (4)	65.2	80.0	82.9

注1) 修了就職者、修了者就職率、就職率は、修了後1か月の数値です。

注2) () 内の数字は、女性人数で内数です。

表3-2 就職地別就職状況

(単位：人)

県 名 科 名	鳥 取 県	島 根 県	岡 山 県	広 島 県	山 口 県	徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	そ の 他	計
C A D 技 術 科				3	1						4
情 報 シ ス テ ム 科				7			1			1	9
W e b デ ザ イ ン 科				6							6
○ A 事 務 科				2							2
○ A 事 務 科 (音声パソコンコース)				1							1
事 務 実 務 科											0
総 合 実 務 科				4							4
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)				3							3
計	0	0	0	26	1	0	1	0	0	1	29

注) この数値は、退校就職者と修了1か月就職者を含んでいます。

令和５年度年度障害者委託訓練の状況

表４－１ 令和５年度入校・修了・就職状況（知識・技能習得訓練コース）

令和6年3月31日現在

科 名	委 託 先	定員	訓練期間	応募者数	入 校 者							中途退校者			修了者	修了就職者	入校率 (%)	修了率 (%)	修了者 就職率 (%)	入校者 就職率 (%)
					入校 者数	学歴			指示別			計	就職	その他						
						中卒	高卒	短大・ 大学卒	指示	推薦	支援 指示									
P C 初級スキル習得科 1 (福 山)	学校法人 福山医療学園	9	R5/12/14 ～ R6/3/13	11	9	2	3	4	3	4	2	0	0	0	9	1	100.0	100.0	11.1	11.1
P C 初級スキル習得科 2 (広 島)	ひろぎんヒューマンリ ソース株式会社	8	R5/6/27 ～ R5/9/26	8	8	0	3	5	4	4	0	0	0	0	8	2	100.0	100.0	25.0	25.0
介 護 初 任 者 研 修 科 (福 山)	陽気株式会社	8	R5/8/18 ～ R5/11/17	5	5	0	3	2	1	2	2	0	0	0	5	3	62.5	100.0	60.0	60.0
P C 初級スキル習得科 3 (広 島)	株式会社 広島情報シンフォニー	8	R5/9/21 ～ R5/12/20	9	7	1	2	4	4	3	0	1	0	1	6	1	87.5	85.7	16.7	16.7
P C 初級スキル習得科 4 (呉)	株式会社 ダイキエンジニアリング	9	R5/10/4 ～ R5/12/27	5	開講中止															
P C 初級スキル習得科 5 (広 島)	ひろぎんヒューマンリ ソース株式会社	8	R5/12/5 ～ R6/3/4	9	8	0	5	3	6	1	1	2	0	2	6	1	100.0	75.0	16.7	16.7
	合 計	50	－	47	37	3	16	18	18	14	5	3	0	3	34	8	74.0	91.9	23.5	23.5

注1) 入校者就職者数は、就職退校者数も含みます。

表４－２ 令和５年度入校・修了・就職状況（e-ラーニングコース）

令和6年3月31日現在

科 名	委 託 先	定員	訓練期間	応募者数	入 校 者						中途退校者			修了者	修了就職者	入校率 (%)	修了率 (%)	修了者 就職率 (%)	入校者 就職率 (%)
					入校者数	学歴			指示別		計	就職	その他						
						中卒	高卒	短大・ 大学卒	指示	推薦									
W e b 在 宅 科（中級）	株式会社 沖ワークウェル	2	R5/9/4 ～ R5/11/28	3	3	0	1	2	3	0	1	1	0	2	0	150.0	66.7	0.0	33.3
W e b 在 宅 科（初級）	株式会社 沖ワークウェル	2	R5/12/4 ～ R6/2/28	3	2	1	1	0	1	1	0	0	0	2	1	100.0	100.0	50.0	50.0
	合 計	4	—	6	5	1	2	2	4	1	1	1	0	4	1	125.0	80.0	25.0	40.0

注1) 入校者就職者数は、就職退校者数も含みます。

注2) e-ラーニングコースは支援指示での入校ができません。

表4-3 令和5年度入校・修了・就職状況（実践能力習得訓練コース）

令和6年3月31日現在

科 名	訓練生	安定所	指示別	障害部位	実施場所	訓練期間	就職者	備 考
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 1	1	三原	指示	精神	三原市	R5/6/6～R5/6/28	0	
清 掃 ス タ ッ プ 科 1	1	広島	推薦	知的・精神	広島市	R5/7/13～R5/8/3	1	実習先就職
工 場 ス タ ッ プ 科 1	—	—	—	—	—	—	—	選考不合格
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 2	1	広島東	推薦	知的	広島市	R5/7/19～R5/8/8	1	
介 護 ス タ ッ プ 科 1	—	—	—	—	—	—	—	選考前辞退
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 3	—	—	—	—	—	—	—	選考不合格
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 4	1	広島	推薦	精神	広島市	R5/9/7～R5/9/29	0	
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 5	1	福山	推薦	知的	福山市	R5/9/27～R5/10/19	1	
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 6	1	広島	指示	精神	広島市	R5/10/26～R5/11/13	1	実習先就職
介 護 ス タ ッ プ 科 2	1	広島	推薦	精神	広島市	R5/10/26～R5/11/21	1	実習先就職
介 護 ス タ ッ プ 科 3	1	福山	指示	精神	福山市	R5/11/2～R5/11/29	1	実習先就職
工 場 ス タ ッ プ 科 2	1	広島	推薦	精神	広島市	R5/11/6～R5/11/21	1	
介 護 ス タ ッ プ 科 4	1	可部	推薦	精神	広島市	R5/11/28～R5/12/13	1	実習先就職
在宅型パソコン訓練科	1	尾道	推薦	身体	訓練生宅	R6/1/15～R6/1/26	1	
	1	福山	推薦	精神			0	
	1	福山	推薦	身体・精神			0	
	1	広島東	推薦	精神			0	
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 7	1	広島東	推薦	身体・精神	広島市	R6/1/16～R6/2/5	1	実習先就職
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 8	1	福山	推薦	知的	福山市	R6/2/7～R6/3/5	—	途中退校
ワ ー ク ス タ ッ プ 科 1	1	広島西条	推薦	精神	東広島市	R6/2/1～R6/2/15	1	実習先就職
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 9	1	福山	推薦	精神	福山市	R6/2/6～R6/3/5	0	
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 10	1	広島	指示	精神	広島市	R6/2/6～R6/2/28	1	実習先就職
商 品 管 理 ス タ ッ プ 科 11	1	広島	推薦	知的	広島市	R6/3/1～R6/3/22	0	
合 計	20					就職率（％）	60	

表4-4 令和5年度入校・修了・就職状況（特別支援学校等早期委託訓練コース）

科 名	訓練生 (人数)	安定所	指示別	障害部位	実施場所	訓練期間	就職者	備 考
実績なし								
合 計						就職率		

表 4-5 令和5年度入校・修了状況（在職者訓練コース）

科 名	委 託 先	定員	訓練日	応募者数	入校者数	修了者数	退校者数	入校率 (%)	修了率 (%)
ビジネスマナー &コミュニケーション研修	ひろぎんヒューマンリソース(株)	20	R5/7/24～R5/7/27	24	24	23	1	120.0	95.8
	合 計	20	—	24	24	23	1	120.0	95.8

表 4-6 令和5年度 障害部位別入校状況（コース別）

障害部位 コー	実 数（人）					割 合（%）				
	知識・技能 習得訓練 コース	実践能力 習得訓練 コース	e-ラーニン グコース	特別支援学 校 等早期訓練 コース	在職者訓練 コース	知識・技能 習得訓練 コース	実践能力 習得訓練 コース	e-ラーニン グコース	特別支援学 校 等早期訓練 コース	在職者訓練 コース
身 体 障 害	5	3	4	—	4	13.2	12.5	66.7	—	16.7
知 的 障 害	2	5	0	—	13	5.3	20.8	0.0	—	54.2
精 神 障 害	30	16	2	—	7	78.9	66.7	33.3	—	29.2
そ の 他	1	0	0	—	0	2.6	0.0	0.0	—	0.0
計	38	24	6	0	24	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0

注1) 障害部位の重複者を含んでいます。

注2) その他の障害の内訳は、指定難病等（発達障害・高次脳機能障害を除く）です。

表 4-7 障害部位別入校状況（年度別）

年 度	実 数（人）					割 合（%）				
	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1
身 体 障 害	16	7	19	15	13	17.4	11.7	29.2	23.4	21.0
知 的 障 害	20	4	7	7	4	21.7	6.7	10.8	10.9	6.5
精 神 障 害	55	47	38	41	43	59.8	78.3	58.5	64.1	69.4
そ の 他	1	2	1	1	2	1.1	3.3	1.5	1.6	3.2
計	92	60	65	64	62	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1) 障害部位の重複者を含んでいます。

注2) その他の障害の内訳は、R1まで発達障害・高次脳機能障害・指定難病等です。
R2から指定難病等（発達障害・高次脳機能障害を除く）としています。

5 過去5年間の状況

表5-1 応募状況の推移

年 度 科 名		応 募 者 数						応 募 倍 率					
		定員	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	
C A D 技 術 科		15	11	6	7	18	17	0.73	0.40	0.47	1.20	1.13	
情 報 シ ス テ ム 科		10	16	18	23	16	14	1.60	1.80	2.30	1.60	1.40	
W e b デ ザ イ ン 科		10	16	19	11	15	20	1.60	1.90	1.10	1.50	2.00	
O A ビ ジ ネ ス 科		17	11	4	8	9	7	0.65	0.24	0.47	0.53	0.41	
O A ビ ジ ネ ス 科 (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス)		3	4	2	5	5	4	1.33	0.67	1.67	1.67	1.33	
事 務 実 務 科		10	15	12	10	15	8	1.50	1.20	1.00	1.50	0.80	
総 合 実 務 科		30	8	14	25	30	13	0.27	0.47	0.83	1.00	0.43	
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	前 期	5	5	2	9	9	7	1.00	0.40	0.90	0.90	0.70	
	後 期	5		1					0.20				
計			105	86	78	98	117	90	0.80	0.74	0.93	1.11	0.86

注) R5年度 O A事務科をO Aビジネス科に科名変更。

表5-2 入校状況の推移

年 度 科 名		入 校 者 数						定員充足率					
		定員	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	
C A D 技 術 科		15	7	5	5	9	6	46.7	33.3	33.3	60.0	40.0	
情 報 シ ス テ ム 科		10	9	9	10	10	9	90.0	90.0	100.0	100.0	90.0	
W e b デ ザ イ ン 科		10	10	10	10	10	9	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	
O A ビ ジ ネ ス 科		17	8	3	4	3	3	47.1	17.6	23.5	17.6	17.6	
O A ビ ジ ネ ス 科 (音声パソコンコース)		3	3	2	3	3	2	100.0	66.7	100.0	100.0	66.7	
事 務 実 務 科		10	9	6	7	7	8	90.0	60.0	70.0	70.0	80.0	
総 合 実 務 科 (知 的 障 害 者)		30	5	7	13	18	10	16.7	23.3	43.3	60.0	33.3	
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	前 期	5	4	2	6	9	7	80.0	40.0	60.0	90.0	70.0	
	後 期	5		1					20.0				
計			105	55	45	58	69	54	44.0	42.9	55.2	65.7	51.4

注) R5年度 O A事務科をO Aビジネス科に科名変更。

表５－３ 年齢別入校状況の推移

(単位：人，％，歳)

年 度 年齢区分	実 数					割 合				
	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
～ 1 9 歳	12	14	23	24	21	27.3	31.1	39.7	34.8	38.9
2 0 ～ 2 9 歳	13	9	13	22	15	29.5	20.0	22.4	31.9	27.8
3 0 ～ 3 9 歳	11	9	10	9	9	25.0	20.0	17.2	13.0	16.7
4 0 ～ 4 9 歳	12	4	7	7	7	27.3	8.9	12.1	10.1	13.0
5 0 ～ 5 9 歳	5	9	3	4	1	11.4	20.0	5.2	5.8	1.9
6 0 歳～	2		2	3	1	4.5	0.0	3.4	4.3	1.9
計	55	45	58	69	54					

表５－４ 出身県別入校状況の推移

(単位：人，％)

年 度 県 名	実 数					割 合				
	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
鳥 取 県					1					1.9
島 根 県			1	1				1.7	1.4	
岡 山 県					1					1.9
広 島 県	53	41	53	65	49	120.5	91.1	91.4	94.2	90.7
山 口 県	2	3	2	1	2	4.5	6.7	3.4	1.4	3.7
徳 島 県										
香 川 県			1					1.7		
愛 媛 県			1					1.7		
高 知 県										
そ の 他		1		2	1		2.2		2.9	1.9
計	55	45	58	69	54					

表５－５ 学歴別入校状況の推移

(単位：人，％)

学歴区分 \ 年 度	実 数					割 合				
	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
中 学 卒	2		4	3	3	3.6	0.0	6.9	4.3	5.6
高 校 卒	34	28	41	42	44	61.8	62.2	70.7	60.9	81.5
短 大 ・ 大 学 卒	19	17	13	24	7	34.5	37.8	22.4	34.8	13.0
計	55	45	58	69	54					

表５－６ 障害部位別入校状況の推移

(単位：人，％)

障害部位 \ 年 度	実 数					割 合				
	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
視 覚 障 害	3	2	5	3	3	4.7	4.3	6.3	3.7	4.1
聴 覚 障 害	6	4	4	6	2	9.4	8.5	5.1	7.3	2.7
言 語 障 害		1			1		2.1			1.4
上 肢 切 断	1			1		1.6			1.2	
上 肢 障 害	4		4	4	3	6.3		5.1	4.9	4.1
下 肢 切 断	1	1				1.6	2.1			
下 肢 障 害	5	3	5	3	4	7.8	6.4	6.3	3.7	5.5
体 幹 障 害		1		1	2		2.1		1.2	2.7
内 臓 障 害	2	1	2	2	3	3.1	2.1	2.5	2.4	4.1
知 的 障 害	5	7	13	18	10	7.8	14.9	16.5	22.0	13.7
精 神 障 害 (R 3～発達障害含む)	37	27	40	41	12	57.8	57.4	50.6	50.0	16.4
そ の 他			6	3	33			7.6	3.7	45.2
計	64	47	79	82	73					

注1) 障害部位は重複者を含んでいます。

注2) その他の障害の内訳は、R 2まで発達障害、高次脳機能障害、指定難病等です。

R 3からは指定難病、慢性疾患、悪性疾患等の併発としています。

表５－７ 障害等級別入校状況の推移

(単位：人，％)

年 度 障害等級等		実 数					割 合				
		R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
身 体 障 害	1 級	2	4	4	5	4	3.4	9.1	6.2	4.5	4.0
	2 級	10	1	8	9	5	17.2	2.3	12.3	8.2	5.1
	3 級		4	2	1	3		9.1	3.1	0.9	3.0
	4 級	3	1			4	5.2	2.3			4.0
	5 級		1	3	1	1		2.3	4.6	0.9	1.0
	6 級	1	1	1	1	1	1.7	2.3	1.5	0.9	1.0
	等 級 不 明										
知 的 障 害		5	7	13	18	10	8.6	15.9	20.0	16.4	10.1
精 神 障 害		37	26	27	43	38	63.8	56.8	41.5	39.1	38.4
そ の 他				7	32	33			10.8	29.1	33.3
計		58	45	65	110	99					

注1) 障害等級の重複者を含んでいます。

注2) その他の障害の内訳は、R 2 まで発達障害、高次脳機能障害及び指定難病等です。
R 3 からは指定難病等としています。

表５－８ 障害理由別入校状況の推移

(単位：人，％)

年 度 障害理由		実 数					割 合				
		R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2
先 天 性		18	28	35	46	35	31.6	54.9	54.7	61.3	63.6
疾 病		13	14	23	26	17	22.8	27.5	35.9	34.7	30.9
産 業 災 害					1	1				1.3	1.8
交 通 災 害		3	2	2	2	1	5.3	3.9	3.1	2.7	1.8
そ の 他		23	8	4		1	40.4	13.7	6.3		1.8
計		57	52	64	75	55					

注) 障害理由の重複者を含んでいます。

表５－９ 訓練科目別修了状況の推移

(単位：人，％)

科 名 \ 年 度	修 了 人 数					修 了 率				
	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1
C A D 技 術 科	4	3	4	5	1	80.0	33.3	66.7	62.5	16.7
情 報 シ ス テ ム 科	8	6	7	5	6	80.0	60.0	77.8	62.5	60.0
W e b デ ザ イ ン 科	4	5	6	7	2	40.0	50.0	66.7	70.0	20.0
Ｏ Ａ ビ ジ ネ ス 科	2	3	3	1	5	66.7	75.0	100.0	33.3	55.6
Ｏ Ａ ビ ジ ネ ス 科 (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス)	2	3	2	1	3	100.0	100.0	66.7	50.0	100.0
事 務 実 務 科 (精 神 障 害 者 等)	4	6	4	6	3	66.7	85.7	57.1	75.0	42.9
総 合 実 務 科	3	0	11	3	9	42.9	0.0	61.1	30.0	33.3
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	3	3	6	6	7	100.0	50.0	66.7	85.7	100.0
計	30	29	43	34	36	65.2	46.8	45.3	76.8	43.0
入 校 者 数	46	64	56	79	68					

注) 修了人数は当該年度が修了年に当たる修了者の人数です。

(例えば、R2修了人数の計は、訓練期間2年の科のR2修了人数と訓練期間1年の科のR2修了人数の合計です。)

表５－１０ 修了者就職状況の推移

(単位：人，％)

科 名 \ 年 度	修 了 者 就 職 者 数					修 了 者 就 職 率				
	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1
C A D 技 術 科	4	2	2	1	1	100.0	66.7	50.0	20.0	100.0
情 報 シ ス テ ム 科	8	4	6	5	6	100.0	66.7	85.7	100.0	100.0
W e b デ ザ イ ン 科	4	4	3	2	1	100.0	80.0	50.0	28.6	50.0
Ｏ Ａ ビ ジ ネ ス 科 (R5～)	2	2	2	1	3	100.0	66.7	66.7	100.0	60.0
Ｏ Ａ ビ ジ ネ ス 科 (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス)	1	2	0	0	2	50.0	66.7	0.0	0.0	66.7
事 務 実 務 科 (精 神 障 害 者 等)	0	5	2	3	3	0.0	83.3	50.0	50.0	100.0
総 合 実 務 科	2	0	8	0	6	66.7	0.0	72.7	0.0	66.7
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	3	3	6	5	5	100.0	100.0	100.0	83.3	71.4
計	24	29	17	27	23	80.0	75.7	67.4	44.1	75.0

注) 修了者就職者数は、修了1か月後就職者を含んでいます。

表5－11 退校者就職状況の推移

(単位：人，％)

年 度 科 名	退 校 就 職 者 数					入校者退校就職率				
	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1
C A D 技 術 科	0	1	0	2	3	0.0	11.1	0.0	25.0	50.0
情 報 シ ス テ ム 科	1	2	0	3	3	10.0	20.0	0.0	37.5	30.0
W e b デ ザ イ ン 科	2	2	3	1	5	20.0	20.0	33.3	10.0	50.0
○ A ビ ジ ネ ス 科	0	0	0	1	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
○ A ビ ジ ネ ス 科 (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス)	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事 務 実 務 科 (精 神 障 害 者 等)	0	0	1	1	2	0.0	0.0	14.3	12.5	28.6
総 合 実 務 科	2	11	6	4	17	28.6	84.6	33.3	40.0	63.0
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	0	3	1	0	0	0.0	50.0	11.1	0.0	0.0
計	5	19	11	12	33	10.9	30.6	17.2	21.4	41.8
入 校 者 数	46	62	64	56	79					

注) 入校者数は当該年度が卒業年に当たる入校者の数です。

(例えば、R3入校者数は、訓練期間2年の科のR2入校者数と訓練期間1年の科のR3入校者数の合計です。)

表5－12 入校者就職状況の推移

(単位：人，％)

年 度 科 名	就 職 者 数					就 職 率				
	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1
C A D 技 術 科	4	3	2	3	4	80.0	33.3	33.3	37.5	66.7
情 報 シ ス テ ム 科	9	6	6	8	9	90.0	60.0	66.7	100.0	90
W e b デ ザ イ ン 科	6	6	6	3	6	60.0	60.0	66.7	30	60
○ A ビ ジ ネ ス 科	2	2	2	2	6	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7
○ A ビ ジ ネ ス 科 (音 声 パ ソ コ ン コ ー ス)	1	2	0	0	2	50.0	66.7	0.0	0.0	66.7
事 務 実 務 科 (精 神 障 害 者 等)	0	5	3	4	5	0.0	71.4	42.9	50.0	71.4
総 合 実 務 科	4	11	14	4	23	57.1	84.6	77.8	40	85.2
総 合 実 務 科 (チャレンジコース)	3	6	7	4	5	100.0	100.0	77.8	57.1	71.4
計	29	41	40	28	60	63.0	70.7	62.5	50.0	76.0

注) 就職者数は、中途退校就職者と修了1か月後就職者を含んでいます。

表５－１３ 就職地別就職状況の推移

(単位：人，％)

年 度 県 名	就 職 者 数					割 合				
	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1	R 5	R 4	R 3	R 2	R 1
鳥 取 県										
島 根 県		1					2.4			
岡 山 県										
広 島 県	26	36	38	25	57	89.7	87.8	95.0	89.3	95.0
山 口 県	1	2	1	2	3	3.4	4.9	2.5	7.1	5.0
徳 島 県										
香 川 県	1					3.4				
愛 媛 県										
高 知 県										
そ の 他	1	2	1	1		3.4	4.9	2.5	3.6	
計	29	41	40	28	60	63.0	66.1	62.5	50.0	75.9
未 就 職 者 数	17	21	24	28	19	37.0	33.9	37.5	50.0	24.1
入 校 者 数	46	62	64	56	79					

注) 入校者数は当該年度が卒業年に当たる入校者の数です。

(例えば、R3入校者数は、訓練期間2年の科のR2入校者数と訓練期間1年の科のR3入校者数の合計です。)

～ ヌ モ ～

Handwriting practice lines consisting of 20 sets of horizontal dotted lines.

広島障害者職業能力開発校 案内図

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/188/>



- J R 広島駅から
- ◎332号「旭町行」
 - ※始発から8時台まで運行
 - 西旭町下車 約0.9km
- ◎302号(都市循環線まちのわループ右回り)
 - ※9時台から17時台まで運行
 - 県立広島大学前下車 約0.8km
- ◎広島バス342号(県病院行)
 - ※7時から8時台まで運行
 - 県立広島大学前下車 約0.8km
- ◎広島バス312号(広島みなと新線)
 - ※7時から20時台まで運行
 - 県立広島大学前下車 約0.8km
- ◎市内電車(5号線)
 - 「比治山下経由 宇品二丁目／広島港(宇品)」行 県病院前下車 約1.2km

- 市内八丁堀方面から
- ◎広電バス(12号線)「仁保沖町」行
 - ※始発から22時台まで運行
 - 中国自動車学校前下車 約0.3 km
- バスセンター・市内紙屋町方面から
- ◎市内電車
 - (1号線)「広島港(宇品)」行
 - (3号線)「宇品二丁目/広島港(宇品)」行 県病院前下車 約1.2 km
- 広島港(宇品)から
- ◎広島バス311号 (広島みなと新線)
 - ※7時台から19時台まで運行
 - 県立広島大学前下車 約 0.8km
- ◎市内電車
 - (1号線、5号線)「広島駅」行

